

【 設問アプローチ 】

[22 - A]

問1 : ① [設問チェック + アプローチ] 「語句の本文中における意味の説明」を答える問題のため、『語句問題アプローチ』の手順で解答する。

② [本文読解] 本文読解中に、文脈から本文中での語句の意味を推測し、語句の近くにメモする。

→ 文脈での《根拠》は、

- ・ a … 傍線部直前の「思わず」を踏まえて、「意図せず声が出た」ということ。
- ・ b … リード文にあるように、場面の前提として階下の男は「苦情」を言っていたこと。
しかし、屋上の水の様子を見て、傍線部の後にあるように「穏やかな表情」になり、
15～18行目のようなセリフや(描写)のように態度が変わっていることを踏まえて。
- ・ c … 前後の文脈から、「信じられないことが起こっていて驚いた」ことを読み取る。

③ [判断基準] 設問読解の際に、語句知識と本文中のメモをもとにして、選択肢を吟味する。

問2 : ① [設問チェック] 設問文から答えを導くために押さえておくべきポイントを確認する。

(1) 「この…音」… 指示内容の把握。「音」の内容を把握する。

(2) 「不意を襲われたような心地」、「肌寒くなった」… 傍線部中で、それぞれポイントとなる心情。
→ 本文から、その内容を明らかにする。

(3) 私が「肌寒くなった」ことについて、その「理由」が尋ねられている。

② [本文読解] ①を踏まえて、それぞれの内容を明らかにし、本文から《根拠》を見つける。

→ (1) 「この…音」… 指示内容は、傍線部直前の「不動産屋に言われ、…遠い音」であり、ここでの音は「水の音」のことであると分かる。「私」は、この音に「柔らかな」印象を受けている。
また、この音についてはリード文に「水の音が…寝入ってしまった」という内容がある。

(2), (3) (1)から「私」は水の音を聞きながらも寝てしまったことが分かる。

一方で、15行目のセリフから読み取れるように、この事故は本来ならもっと大きな被害が出ていてもおかしくなかったものであることが読み取れる。

→ 以上のことから、「不意を襲われたような心地」、「肌寒くなった」とは「水の音」に対して自分が予期しなかった危険性に気付き、動揺していることを表した表現であることが読み取れる。

③ [判断基準] ①, ②から、本文の内容を適切に説明した選択肢を、解答として選ぶ。

問3 : ① [設問チェック] 設問文から答えを導くために押さえておくべきポイントを確認する。

(1) 「この」… 指示内容の把握。

(2) 「手渡された」、「不安定なかたまり」… 本文から内容を明らかにする表現。

(3) 「愛着」… ポイントとなる〈心情〉

(4) 傍線部の表現について、理由が尋ねられている。

② [本文読解] ①を踏まえて、それぞれの内容を明らかにし、本文から《根拠》を見つける。

(1) 「この」、「不安定なかたまり」… 39行目に「かたまり」のキーワードがある。

この「かたまり」の内容説明は、35～39行目にある。

→ つまり、「かたまり」は『「私」と娘との新たな生活』のことを意味していることが読み取れる。

(2) 「手渡された」、… 44行目に「別居を決めたのは藤野の方だったのに」から、「手渡された」は「他者が一方的に決めたことなのに」というニュアンスがあることを掴む。

(3) 「愛着」… (1), (2)で確認した内容について、「私」が大切に思っていることを把握する。

③ [判断基準] ①, ②を踏まえて、適切に内容説明している選択肢を選ぶ。

問4 : ① [設問チェック] 傍線部について、『「私」の心情』の内容説明が求められている。
また、傍線部中の注目すべき〈心情〉として、「詰ってくれた」があることを把握する。

② [本文読解] 傍線部についての〈きっかけ〉は、傍線部直前の「屋上は…透明な水を失っていった」になる。→ [アプローチ] ①で確認した「詰ってくれた」から、「私」は「屋上の水」がなくなったことに対して残念な気持ちを持っていることが読み取れる。そのような気持ちになった背景を説明した、「私」と「屋上の水」の〈描写〉のある場面を確認する。

③ [本文読解] ②から、該当する本文の内容を確認すると、27行目～30行目の内容が当てははまる。
この部分には、「不安」という〈心情〉があり、その「不安」に対して「心を弾ませた」という説明がある。

④ [判断基準] ③で把握した〈心情〉と、傍線部までの文脈を踏まえて、内容を適切に説明した選択肢を吟味する。

問5 : ① [設問チェック] 3か所の波線部について、「私」の受け止め方が問われている。

② [本文読解] a, b, cは、それぞれ独立した内容であることを把握する。

それぞれの内容を理解する《根拠》として、

- ・ a … 33行目の「責任を取らなければならないの」という「私」の問いに対して、34行目で「小林は頷き、その内容が波線部に続いているということ。
- ・ b … 44行目で「それでも私は藤野を忘れてはいけないのですか」という「私」の問いに対して、波線部で「忘れてはいけない」と「まわりの人」は答えた。
- ・ c … 波線部のポイントを確認する。64行目から当該場面。
 - (1) 「悲しげに」… ポイントとなる〈心情〉。本文から内容を明らかにする。
 - (2) 「昔のままの」… なぜ「昔のままの」姿だったのかを本文から明らかにする。

③ [判断基準] ②から、「私」の受け止め方のポイントを確認する。

- ・ a, bは、周囲の人が「私」意図に反する反応を示している。
- ・ cは、(1) 「悲しげに」… 67行目のセリフにあるように同級生が「私」を「批判する気持ち」が表されている。
 - (2) 「昔のままの」… ここでは、敢えて中学生時代の才色兼備の同級生が「私」の夢に登場している。このことは、「昔から変わらず、いつまでもたってもダメな自分」という「私」の自己認識を強調する役割を担っており、またそんな「私」が「昔と何一つ変わっていない」ことを暗に示している。

→ 以上のことを説明している選択肢を吟味する。

- 問6 : ①〔設問チェック〕設問文から答えを出すためにポイントとなる内容をチェックする。
- (1) 「この文章における」…文章全体の内容に関わる問題のため、予め選択肢文のキーワードをチェックする。
 - (2) 「水」…内容説明を求められているキーワード。本文読解で、本文を通して注意して内容把握。
 - (3) 「適当でないもの」を「二つ」解答する。
- ②〔判断基準〕本文読解でチェックした「水」の〈描写〉と、選択肢文のキーワードを照らし合わせる。